

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしく願いいたします。  
書肆心水 FAX 03-6677-0682

# 暴風来

附 普通選挙の精神 億兆一心の普通選挙

上杉慎吉 (憲法学者・東京帝国大学教授)

## 「国家は最高の道徳なり。」

日本という名の日本最大の宗教。その真髓を学問的に示す問題の書

今なお私的領域、あるいは公の陰の領域に広く根を張る日本的反民主主義思想の強さの秘密とは何か。天皇機関説をめぐる論戦で美濃部達吉に敗北して以後、日本憲法学史から葬り去られ闇の存在とされてきた東大憲法学講座担当教授上杉慎吉。近年その存在の意味に対する関心が高まる上杉が、その思想を一般向けに分かりやすく語った三書の合冊版。日本は他の国と違うという信念と日本型集団主義の精髓。民主主義の「うまくいかない現実」に対する批判として現れる「日本主義」の核心。

上杉慎吉 (うえずぎ・しんきち) 1878生、1929歿。憲法学者。福井県生まれ。1903年東京帝国大学法科卒業後すぐに同大学助教授となり、06年から09年までドイツ留学。留学中にイヰリネック宅に寄寓。12年教授となり穂積八束の憲法講座を継承。ドイツ留学前は国家法人説、天皇機関説を唱えたが、帰国後は天皇主権説の立場をとり、天皇機関説をめぐる美濃部達吉と激しく論争。第一次世界大戦後は、学内外において複数の思想運動団体の結成や指導に尽力。主な著書、『帝国憲法』(1905)、『比較各国憲法論』(1906)、『帝国憲法述義』(1914)、『国体憲法及憲政』(1916)、『議会政党及政府』(1916)、『暴風来』(1919)、『新稿憲法述義』(1924)、『日米衝突の必至と国民の覚悟』(1924)、『国家論』(1925)、『国体論』(1925) など。

- 関連書 今野元著『吉野作造と上杉慎吉』(2018年、名古屋大学出版会)  
原田武夫著『甦る上杉慎吉』(2014年、講談社)

新刊 注文返条付(清藤)	取次番線印	<b>暴風来</b> 附 普通選挙の精神 億兆一心の普通選挙 上杉慎吉著 ISBN978-4-906917-87-7 C0031 A5判上製 320頁 本体6900円+税		1 月 下 旬 刊
	お名前			

ご注文は JRC へ 03-3294-2177 全ての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。(了解者 JRC 後藤)